



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社マイクロアド

上場取引所 東

コード番号 9553 URL <http://www.microad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡辺 健太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 福田 裕也 TEL 050-(1753)-0440

四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	7,086	△1.4	411	△41.9	418	△39.6	329	△35.3
2023年9月期第2四半期	7,190	17.5	709	64.2	692	75.2	509	111.2

（注）包括利益 2024年9月期第2四半期 294百万円（△42.9％） 2023年9月期第2四半期 515百万円（45.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	11.99	11.65
2023年9月期第2四半期	18.96	18.20

（注）当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、2023年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	8,030	4,057	42.7
2023年9月期	6,844	3,729	45.4

（参考）自己資本 2024年9月期第2四半期 3,429百万円 2023年9月期 3,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年9月期	-	0.00	-	-	-
2024年9月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,837	15.3	742	△10.9	739	0.1	566	0.3	20.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
特定子会社には該当しませんが、株式会社 New Bについて2024年2月14日に設立し、当第2四半期連結会計期間より新たに連結対象となっております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	27,540,000株	2023年9月期	27,471,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	264株	2023年9月期	264株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	27,504,798株	2023年9月期2Q	26,877,669株

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っておりますが、2023年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における外部環境につきまして、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化による世界的な燃料価格の高騰、日米金融政策差による円安進行の影響を受けて日本国内においても電力、ガス、食料品や日用品など広範囲の物価上昇が進み、日本経済全体において不透明な状況が継続しております。そのような環境下において当社グループの事業は堅調に推移いたしました。

当社グループの事業はデータプラットフォーム事業の単一セグメントであります。セグメントを構成する主要なサービスとして、①データプロダクトサービス、②コンサルティングサービスの2つのサービスによって事業展開しております。当第2四半期連結累計期間における、それぞれのサービスの経営状況は下記のとおりです。

①データプロダクトサービス

データプロダクトサービスは「UNIVERSE」と、株式会社MADSが提供する「デジタルサイネージサービス」の2つのサービスが属しております。「UNIVERSE」とは企業のマーケティング活動を支援するデータプラットフォームです。様々な業界・業種に特化した多様なデータを保有し、それらを有機的に統合分析することで、消費者の購買プロセスの可視化と予測、そのデータを活用した広告配信から顧客属性等の分析レポート作成まで幅広く企業のマーケティング活動を支援しております。「UNIVERSE」の拡大にあたっては、顧客の属性毎に最適化した営業体制によって、顧客ニーズを的確にとらえた製品開発や製品提供体制を整えております。また、リモートワーク中心に変化している顧客企業に対しては、オンラインセミナーの開催やオンラインでのリード獲得を目的としたマーケティング活動及び、インサイドセールスに特化する専任部門によって、効率的な営業活動を行っております。これらの施策に加え、新たなデータパートナーとの提携による業種別プロダクトの性能強化によって、より顧客のニーズや規模に合致したサービス提供を行い、主要なKPIである稼働アカウント数は順調な拡大を実現しており、前年同四半期比で売上・売上総利益ともに拡大しております。

デジタルサイネージサービスは、小売店舗や美容サロンなどに設置されたサイネージをネットワーク化し、一元的な広告配信を行うサービスとして「MONOLITHS」を提供しております。前年同四半期比では、タクシーサイネージの契約更改によって売上・売上総利益共に減少しておりますが、2024年9月期より新たに美容サロン向けに新たなデジタルサイネージサービスとして「OCTAVE」の提供を開始し、2024年度下半期に向けて売上拡大を狙っております。デジタルサイネージサービスの減収・減益を「UNIVERSE」の拡大によって補う事で、データプロダクトサービスの売上高は3,467百万円となりました。

②コンサルティングサービス

コンサルティングサービスは、「メディア向けコンサルティングサービス」と、「海外コンサルティングサービス」の2つのサービスが属しております。メディア向けコンサルティングサービスは、日本国内においてインターネットメディアの広告枠を預かり、様々な広告サービスを組み合わせることでメディア企業の広告収益を最大化するサービスを提供しております。特に当社が提供する「MicroAd COMPASS」においてはメディア企業に対する広告枠の企画提案や、提供する広告サービスの改善などによって事業を拡大、前年同四半期比では売上高は拡大しましたが、提供する広告サービスの変化によって売上総利益は減少しております。

海外コンサルティングサービスは、台湾を中心としたデジタルマーケティングのコンサルティングサービスを提供しております。前年同四半期比では、特定の大手広告主・代理店からの予算縮小にともない、売上高は減少しておりますが、利益率の高い商品提供を行うことで、売上総利益は拡大しております。また、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小することで訪日観光客が増加しており、日系企業のインバウンド需要が増加しております。そのような需要の拡大に向け様々なサービスの提供を新たに開始しております。

これらの結果、コンサルティングサービスの売上高は3,618百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,086百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は411百万円（前年同期比41.9%減）、経常利益は418百万円（前年同期比39.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は329百万円（前年同期比35.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ550百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が586百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ635百万円増加いたしました。この結果、総資産は8,030百万円となり前連結会計年度末に比べ1,185百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ852百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が500百万円増加したこと、ならびに支払手形及び買掛金が360百万円増加したことによるものであります。固定負債は86百万円となり、前連結会計年度末から大きな変動はありませんでした。この結果、負債合計は3,972百万円となり前連結会計年度末に比べ857百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,057百万円となり、前連結会計年度末に比べ328百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が329百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は42.7%（前連結会計年度末は45.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて199百万円減少し、2,784百万円となりました。当第2四半期連結会計累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、113百万円の資金増加（前年同期間は3百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を415百万円計上したこと、売上債権が579百万円増加したこと、ならびに仕入債務が355百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、828百万円の資金減少（前年同期間は558百万円の資金減少）となりました。これは主に、関係会社株式の取得により279百万円減少したこと、ならびに投資有価証券の取得により163百万円減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、496百万円の資金増加（前年同期間は30百万円の資金増加）となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,984,253	2,784,821
受取手形及び売掛金	1,521,288	2,108,263
有価証券	—	44,266
その他	541,827	661,892
貸倒引当金	△27,682	△28,698
流動資産合計	5,019,686	5,570,545
固定資産		
有形固定資産	368,550	404,935
無形固定資産		
のれん	73,833	65,629
その他	572,467	666,304
無形固定資産合計	646,300	731,934
投資その他の資産	810,098	1,323,131
固定資産合計	1,824,950	2,460,001
資産合計	6,844,636	8,030,546
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,151,010	1,511,752
短期借入金	1,180,000	1,680,000
未払法人税等	101,743	99,785
その他	600,789	594,350
流動負債合計	3,033,543	3,885,888
固定負債		
資産除去債務	80,909	84,744
その他	254	1,972
固定負債合計	81,163	86,717
負債合計	3,114,707	3,972,605

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	990,830	1,006,760
資本剰余金	1,540,860	1,556,790
利益剰余金	332,380	662,289
自己株式	△240	△240
株主資本合計	2,863,830	3,225,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	547	△58,029
為替換算調整勘定	244,026	260,979
その他の包括利益累計額合計	244,573	202,950
新株予約権	—	1,360
非支配株主持分	621,525	628,029
純資産合計	3,729,929	4,057,941
負債純資産合計	6,844,636	8,030,546

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	7,190,400	7,086,365
売上原価	4,901,970	4,915,505
売上総利益	2,288,430	2,170,860
販売費及び一般管理費	1,579,262	1,758,934
営業利益	709,167	411,925
営業外収益		
受取利息	1,093	2,328
受取配当金	—	1,461
売買目的有価証券運用益	5,157	24,185
受取和解金	6,500	—
その他	5,171	4,307
営業外収益合計	17,923	32,283
営業外費用		
支払利息	2,427	3,291
投資有価証券評価損	—	1,449
為替差損	31,311	18,270
その他	478	2,717
営業外費用合計	34,217	25,729
経常利益	692,873	418,479
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,640
特別利益合計	—	2,640
特別損失		
投資有価証券評価損	3,591	5,144
特別損失合計	3,591	5,144
税金等調整前四半期純利益	689,281	415,975
法人税、住民税及び事業税	99,581	71,425
法人税等調整額	36,521	13,503
法人税等合計	136,102	84,928
四半期純利益	553,178	331,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	43,478	1,137
親会社株主に帰属する四半期純利益	509,700	329,909

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
四半期純利益	553,178	331,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△578	△58,576
為替換算調整勘定	△36,709	22,319
その他の包括利益合計	△37,288	△36,256
四半期包括利益	515,890	294,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,329	288,286
非支配株主に係る四半期包括利益	34,560	6,504

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	689,281	415,975
減価償却費	73,634	101,815
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,591	6,593
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△2,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,457	915
受取利息及び受取配当金	△1,093	△3,790
支払利息	2,427	3,291
為替差損益 (△は益)	8,328	1,909
売上債権の増減額 (△は増加)	△524,348	△579,551
有価証券の増減額 (△は増加)	—	△44,266
仕入債務の増減額 (△は減少)	431,187	355,663
差入保証金の増減額 (△は増加)	△405,446	△105,088
受取和解金	△6,500	—
その他	△176,512	31,069
小計	84,092	181,897
利息及び配当金の受取額	1,093	3,790
利息の支払額	△2,427	△3,291
法人税等の支払額	△86,238	△68,495
和解金の受取額	6,500	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,020	113,899
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,796	△48,612
無形固定資産の取得による支出	△142,500	△153,611
投資有価証券の取得による支出	△181,306	△163,229
投資有価証券の売却による収入	—	5,640
関係会社株式の取得による支出	—	△279,657
長期貸付けによる支出	—	△150,000
長期貸付金の回収による収入	—	7,500
差入保証金の差入による支出	△47,507	△47,498
差入保証金の回収による収入	5,215	797
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△85,480	—
その他	1,875	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△558,499	△828,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	500,000
リース債務の返済による支出	△12,975	△14,474
株式の発行による収入	43,797	10,936
自己株式の取得による支出	△117	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,703	496,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40,090	18,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△564,866	△199,432
現金及び現金同等物の期首残高	3,295,116	2,984,253
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,730,250	2,784,821

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

当社グループは、データプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、データプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。